

第8回サーベイランス結果報告

サーベイランス部会

阿部沙耶香、西山 愛、飯田 有輝、小蔵要司、中原さおり、
白土健吾、宮崎慎二郎、鈴木瑞恵、社本 博

本報告は、第13回日本リハビリテーション栄養学会学術集会にて発表されたサーベイランス結果報告のダイジェスト版である（発表者：阿部沙耶香）

第8回サーベイランス結果報告

テーマ：『リハビリテーション栄養のスキルアップ法を教えてください』

調査目的：学会員の学習の場やその方法、要望などを知ること

方法：オンラインアンケート

調査期間：8月7日 ～9月11日

対象：日本リハビリテーション栄養学会会員（無料会員も含む）

回答者：259名

本調査は鈴鹿中央総合病院倫理委員会（令和5年7月11日）にて承認されている

アンケート回答者の概要

職種

理学療法士	72名	28%
(管)栄養士	69名	27%
言語聴覚士	28名	11%
作業療法士	23名	9%
医師	22名	9%
看護師	19名	7%
歯科医	11名	4%
薬剤師	8名	3%
その他	3名	1%

会員歴

3年以上	165名	65%
------	------	-----

主な職域

急性期	102名	40%
回復期	75名	29%
療養または介護	20名	8%
在宅	19名	7%
高齢者施設	9名	4%
クリニック	7名	3%
ケアミックス	3名	1%
教育	9名	4%
歯科	6名	2%
その他	5名	2%

「リハ栄養」に関する知識や情報をどのように得ていますか？（複数回答可、5位まで）

リハ栄養学会誌	135名	52.9%
SNS	131名	51.4%
書籍	129名	50.6%
リハ栄養学会学術集会	126名	49.4%
リハ栄養学会主催のセミナー、研修会、勉強会	120名	47.1%

あなたが必要だと思う「リハ栄養」の学びの場を教えてください。（複数回答可、5位まで）

学会主催のセミナーや勉強会	209名	82.0%
リハ栄養学会誌	139名	54.5%
地方部会主催のセミナーや勉強会	126名	49.1%
地域や職場の勉強会	117名	45.9%
関連する他学会のセミナーや勉強会	110名	43.1%

リハ栄養学会が積極的に情報発信をしていると思いますか？

思う	思わない	分からない
172名	19名	64名
67%	7%	25%

あなた自身は、「リハ栄養」に関する情報発信をしていますか？

積極的にしている	機会があればしている	していない	あまりしていない
25名	103名	54名	73名
10%	40%	21%	29%

あなたは「リハ栄養」に関するコミュニケーションの場がありますか？

はい	いいえ
139名	116名
55%	45%

あなたは「リハ栄養」を学んでいますか？	積極的に学んでいる	機会があれば学んでいる	学んでいない	あまり学んでいない
	81名	153名	1名	20名
	32%	60%	0%	8%
あなたの施設に「リハ栄養」の学びの場はありますか？	ある	ない	わからない	
	87名	142名	26名	
	13%	65%	17%	
あなたの施設に「リハ栄養」の教育システムはありますか？	ある	ない	わからない	
	28名	210名	17名	
	11%	82%	7%	

参加あるいは参考にしたことのあるリハ栄養学会の事業について教えてください。
(複数回答可、5位まで)

リハ栄養学会学術集会	207名	81.2%
リハ栄養フォーラム	187名	73.3%
日本リハ栄養学会のポジションペーパー	138名	54.1%
リハ栄養診療ガイドライン	122名	47.8%
TNT Rehabilitation	103名	40.4%

「リハ栄養」に関するコミュニケーションの場として期待しているツールは何ですか？
(複数回答可、5位まで)

リハ栄養学会学術集会	165名	64.7%
リハ栄養学会ホームページ	119名	46.7%
Facebook上のリハ栄養グループ	117名	45.9%
X(Twitter)	74名	29.0%
リハ栄養オンラインサロン	59名	23.1%

第8回サーベイランス調査のまとめ

- 会員の90%以上がリハ栄養に関する新しい情報を収集している（あるいはほしい）と回答した。
- 学会会員以外への「リハ栄養の浸透や周知」が不足していると感じており、情報発信の制限要因となっている。
- 『必要だと思うリハ栄養の学びの場』として「症例検討会、多施設研究、地方部会、地域や職場の勉強会」が挙げられ、**啓発・浸透事業の要望**が多い。
- 今後の会員が学びやすい場の提供や体制の整備が望まれる。